

研究概要の情報公開原稿

「多目的コホートにおける血液を用いた大腸がんのコホート内症例・対照研究」

【研究対象】多目的コホート研究（JPHC Study）において、ベースライン時（コホート I は1990年、コホート II は1993年）あるいは5年後調査時に血液を提供した方を対象とします。

【概要】多目的コホート研究（JPHC Study）において採取・保存されている血液を用いて、その後に発症した大腸がんと種々の血液検査項目との関連を検討する研究です。

【意義】大腸がんの発症には多くの要因が関わっていますが、食物要因は主たる要因のひとつとされています。疫学研究において、質問票から推定された栄養素摂取量と大腸がんの関連は数多く研究されていますが、血中の栄養素やタンパク質・ペプチドなどと大腸がんとの関連を検討した研究は限られています。また、アスピリンや非ステロイド系抗炎症薬内服者でのリスク低下が一貫して確認されることから、炎症が重要な役割を果たしていることも推測されます。しかしながら、炎症を示すマーカーと大腸がんとの関連は実験室レベルまたは進展や予後に関する臨床研究にとどまっているのが現状です。

【目的】大腸がんと栄養素（葉酸、ビタミンB群、脂肪酸、抗酸化物質など）、炎症マーカー、肥満・糖尿病関連（アディポサイトカイン、インスリンおよびインスリン関連マーカー：C-ペプチド、IGFs、IGFBPs）などおよびタンパク質・ペプチド・性ホルモン・メタボローム・アミノ酸などとの関連を、ベースライン時および5年後調査時に得られた血液試料を用いて検討します。また、血漿バイオマーカーを用いて内臓脂肪組織の予測スコアを算出し、大腸がんとの関連を検討します。

【方法】

<研究デザイン>コホート内症例対照研究など

<測定予定血液検査項目>（すべて血漿あるいは赤血球を用います）

葉酸代謝関連（葉酸、ビタミンB12、ビタミンB6、ビタミンB2、ホモシステインなど）、脂肪酸関連、抗酸化物質関連（カロテノイド類、ポリフェノール類など）、炎症関連（高感度CRPなど）、肥満・糖尿病関連（アディポサイトカイン、インスリンおよびインスリン関連マーカー：C-ペプチド、IGFs、IGFBPs）など 血漿低分子タンパク質・ペプチド・メタボロームなど、セレンウムおよびセレン代謝物（有機態・無機態セレン化合物、セレンタンパク質）、メチル水銀および無機水銀、性ホルモン、ポリフェノール代謝物、アミノ酸など

<対象者>岩手県二戸、秋田県横手、長野県佐久、沖縄県石川（以上、1990年開始のコホート I）、茨城県水戸、新潟県柏崎、高知県中央東、長崎県上五島、沖縄県宮古、大阪

府吹田（以上、1993年開始のコホート II）の10保健所管内に、研究開始時点で居住していた地域住民約14万人のうち、研究開始時あるいは5年後に血液の提供のある者が対象となります。ただし、がんの既往のある者、追跡開始後に不適格であると認められた方（外国人、対象地域外に居住、年齢不適判明者、追跡拒否）は除外されます。

【研究の実施期間】

2025年12月31日まで

【研究に用いる試料・情報の種類】

- ① 多目的コホート研究（JPHC Study）で収集した生活習慣アンケート調査情報、および健診情報等
- ② 多目的コホート研究（JPHC Study）で収集した血漿検体等
- ③ 多目的コホート研究（JPHC Study）で収集した生年月日、転出日、死亡日、全死因、がん罹患登録情報等
- ④ その他、郵送調査等において判明したがん以外の疾病既往情報や郵送追跡調査において収集した健康状態に関する情報等

【外部への試料・情報の提供・公表】

◇ 試料・情報の提供

「5. 研究組織」に列記する共同研究機関に試料・情報等を提供することがあります。その場合は、書留・配達記録など、受取人の手元に確実に届くことを保証する仕組みを用います。電子媒体では、暗号化・パスワード管理など、第三者がファイルを容易に閲覧できない仕組みを施します。海外の共同研究機関に提供する際は、試料やデータ提供に関する覚書を取り交わす予定です。

◇ 情報の公表

研究の成果は、論文および学会等で発表します。

【個人情報保護に関する配慮】 追跡調査によって収集される死亡・住所異動・疾病罹患などの個人情報や既に収集されている生活習慣・健康診査・血液などの個人情報については、厚生労働省多目的コホート研究班・個人情報保護安全管理措置マニュアルに従って、対象者に危険・不利益が及ばないように厳格に管理しています。また、提供いただいた資料を有効に活用するために、適切と判断される場合は他の研究へ資料の提供を行う場合があります。その場合も個人が特定されない措置を徹底します。

【研究組織】

国立がん研究センター
神戸大学
水産研究・教育機構
杏林大学
国際がん研究機関
味の素株式会社
ハワイ大学

岩崎 基 (研究代表者)
吉田 優
山下倫明
苅田香苗
Marc Gunter
山本浩史
Loïc Le Marchand

【問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書、および関連資料を閲覧することが可能です。また、試料・情報が、当該研究に用いられることについて、対象者の方、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。
この場合も対象者の方に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究グループ内
研究事務局 山地 太樹
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
電話 0120-220-510
Email: jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp

研究代表者/ 研究責任者

国立がん研究センター がん対策研究所
疫学研究部長 岩崎 基